

父母の会便り

NO.2

梧林祭を無事に終えて「ありがとうございました」

会長 米森公二

紅葉前線も次第に南下をはじめ、银杏の街路樹も一枚。一枚と舞い落ちる少しづつ寒さを感じるきょうこの頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

目黒学院父母の会、会長米森です。梧林祭を無事に終えることが出来ましたことをまずもって皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

ことは開催日直前に、台風18号の日本本土への2年ぶりの上陸。そして新型インフルエンザが猛威をふるうなど様々なことがありました。しかし、「災い転じて福となす」みんなの思いがひとつになり、「アット・ホームな梧林祭」が開催できたと思います。私も両手にヘラを持って3年目の梧林祭でした。これまでにない梧林祭を経験、楽しむことが出来ました。焼きそばだけではなく、サーティーワン、ホットドックの校内行商。これらを通して多くのみなさんと話す機会に恵まれました。その中で、やはり目黒学院のすばらしさをあらためて感じました。子供たちの素直さ、保護者の皆様の献身的な協力。そして教職員の方々と一体感。これは他の中高一貫校には真似できないものだと思います。

皆様にご理解ご協力いただいた梧林祭が開催され、無事に終えることができましたことをあらためて感謝申し上げます。かねてから皆様に、父母の会の運営は義務ではありません。無理なく楽しく行ってください、とお話してきました。

これからも皆様のご協力のもと子供の成長を暖かく見守っていければと思います。何卒今後も父母の会をよろしくお願い申し上げます。

「エコ活動」

副会長 高橋佳栄子

梧林祭の際に、父母の会の取り組みでありました『エコ活動』一環のゴミ分別にご協力を頂き有難うございました。お陰様で、ゴミ分別が正しく行われゴミ処理がスムーズに出来ました事をご報告いたします。焼きそばのバイオマス容器は、燃焼時に有害物質を一切出さない容器でしたので、燃えるゴミとして100%の回収率で処理させて頂きました。間伐材の割箸は70%～80%の回収率で、某製紙会社のパルプ工場に送らせて頂きました。使用済みの割箸は工場で再生紙となり、再度、別の形で市場に出回る事と思います。皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。



梧林祭の各コーナーから

新型インフルエンザに台風、数多くのアクシデントを皆で乗り切り、今年も完売できました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

(フランク担当 K. Y)

クラス委員・当日お手伝いの皆様。お客様をお迎えする為の準備と片づけ、また当日の接客を快くお受け頂き有難うございました。今年は1年生の学年閉鎖の為、役員の人手不足を皆様に助けて頂きました事を、心から感謝いたします。

(喫茶担当 K. T)

指定していない商品が届き、味付けの修正をした以外はすべて順調で、完売することができました。仕込み、焼き手、盛り付け、販売、呼び込みの連携も見事でした。関口校長およびOBの方からも御協力をいただきましたが、蓄積された創意工夫が活かされたと思います。さらに経験を蓄積しながら、「目黒の焼きそば」を受け継いでいきたいと思います。

(焼そば担当 H. O)

ご父兄の皆様からの沢山の献品とお手伝いのお陰で盛況のうちにバザー終えることができました。心より感謝申し上げます。

(バザー担当 N. H)

学校より

インフルエンザの大流行により本校の一貫生も170名程が感染しました。11月下旬にも中学2年生が学年閉鎖とまだまだ予断を許さない状態が続いています。学校では感染が広がらないように一部屋に大勢の生徒が集まる事のないよう、いろいろな行事の中止も含めて考えております。その一つとしまして、父母の会による教育講和を本年度は中止することになりました。その他の行事については追ってご連絡いたします。

また、目黒学院のホームページは12月中を目途に全面リニューアルをする方向で準備を進めております。もう少々お待ちください。